



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社IBJ 上場取引所 東
コード番号 6071 URL <https://www.ibjapan.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 石坂 茂
問合せ先責任者（役職名） 経理部長（氏名） 石田 明 (TEL) 080 (7027) 0983
半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	8,566	10.9	1,270	31.7	1,268	26.3	866	7.5
2023年12月期中間期	7,725	4.9	964	3.6	1,004	2.6	805	8.5

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 900百万円 (96.7%) 2023年12月期中間期 458百万円 (△40.2%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	22.75	—
2023年12月期中間期	19.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期中間期	17,277	8,027	43.3	197.98
2023年12月期	18,120	8,023	41.1	192.02

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 7,481百万円 2023年12月期 7,447百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

期末日時点における配当予想は未定であります。

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,200	3.1	2,323	4.2	2,303	0.5	1,529	△6.2	42.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期中間期	42,000,000株	2023年12月期	42,000,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	4,211,306株	2023年12月期	3,217,506株
③ 期中平均株式数(中間期)	2024年12月期中間期	38,084,729株	2023年12月期中間期	40,354,769株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、この四半期(中間期)決算短信(添付資料)P. 4「1. 当中間期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法)

当社は2024年8月13日(火)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。なお、決算補足説明資料については、本日当社ホームページに掲載致します。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	11
(収益認識関係)	12

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済・日本経済は、欧米等の金融引き締め効果によりインフレ圧力が緩和し、世界的に需要と供給の両面での堅調さが維持されました。一方、中国経済の減速、継続する地政学リスク、気候変動や自然災害の発生、円安による輸入コスト上昇を受けた物価上昇等、先行きの不透明感が残りました。

このような状況のもと、当社グループにおきましても、国内外の経済活動の影響を少なからず受けておりますが、中期経営計画(2021年1月～2027年12月)である「成婚組数2万組」「加盟相談所数7千社」「お見合い会員数17.3万人」「マッチング会員数25万人」の達成に向けて、引き続き業容の拡大に努めました。

結果、当中間連結会計期間の売上高は8,566,169千円(前年同期比10.9%増)、営業利益は1,270,177千円(同31.7%増)、経常利益は1,268,307千円(同26.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は866,605千円(同7.5%増)となりました。

当社独自のビジネスモデル

「直営店+加盟店」による日本最大の婚活プラットフォーム運営
さらに周辺事業も成長する独自のビジネスモデル

「マッチング事業」は「結婚相談所事業」のゲートウェイサービス、
「ライフデザイン事業」は増えていく成婚数を主にターゲットにしたサービス

Copyright © IBJ, Inc. All rights reserved.

各セグメントの売上高及び事業利益は以下のとおりであります。

なお、事業利益は、営業利益+減価償却費+のれん償却費+長期前払費用償却費としております(内部取引調整済み)。

(加盟店事業)

加盟店事業は、当中間連結会計期間において、開業支援事業については、従前より継続して組織改編を実施してきたことで、営業スタッフ1人あたりの新規開業件数は増加し、好調な数値を維持しております。また、加盟店事業については、登録会員数が9万名を突破、KPIの増加サイクルが好調に機能していることに加え、オーネットの本格稼働、営業の成約率が安定しており、新規開業件数と共に、加盟相談所件数が順調に増加しております。

これらの理由により、セグメント売上高は1,618,615千円(前年同期比8.5%増)、事業利益は1,098,730千円(同29.1%増)となりました。

(直営店事業)

直営店事業は、当中間連結会計期間において、入会者数が10,646名(前年同期比5.6%増)、お見合い件数が164,590件(同14.3%増)となりました。主な増加要因としては、直営3ブランドにおける、部内の体制変更や営業スタッフのレベル向上と効率的なマーケティング戦略施策の実施、入会プランの見直し、オプション商品の拡充によるものです。

これらの理由により、セグメント売上高は4,388,955千円(前年同期比5.6%増)、事業利益は976,382千円(同9.6%増)となりました。

(マッチング事業)

マッチング事業は、当中間連結会計期間において、パーティー事業については、顧客獲得を目的にキャンペーンを実施した結果、割引の影響で顧客単価が一時的に減少しましたが、参加者と開催本数が改善しました。また、マーケティングのインハウス化で広告費の削減を実現しました。アプリ事業については、売上高、利益ともに堅調に業績を維持しており、顧客のUX向上を目指し、アプリ会員限定の対面パーティーを開催するなどの取り組みを進めております。

これらの理由により、セグメント売上高は814,325千円(前年同期比11.2%減)、事業利益は114,019千円(同10.2%増)となりました。

(ライフデザイン事業)

ライフデザイン事業は、婚活周辺領域である保険・ウェディングの領域においても結婚相談所事業の成長に比例し、加盟店との連携を強化しつつ、送客ラインを見直すことで、成長しております。当中間連結会計期間における成約件数は1,178件(前年同期比46.9%増)を実現しています。

また、趣味・コミュニティ事業においては、韓国語教室やボイトレ・ダンススクールを運営する株式会社K Villageが、引き続きK-POPブームを発端としたボイストレーニングやダンス需要を捉え、好調に推移しております。

この結果、セグメント売上高は1,744,273千円(前年同期比50.5%増)、事業利益は297,938千円(同31.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は7,035,259千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,055,865千円減少しました。これは主に、売掛金が47,271千円、預け金が966,525千円減少したためです。固定資産は10,242,593千円となり、前連結会計年度末に比べ213,400千円増加しました。これは主に、投資有価証券が200,334千円、差入保証金が77,428千円増加した一方、長期前払費用が36,150千円、繰延税金資産が13,705千円減少したためです。

この結果、総資産は、17,277,853千円となり、前連結会計年度末に比べ842,464千円減少しました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は5,126,200千円となり、前連結会計年度末に比べ、2,061,606千円減少しました。これは主に、短期借入金が1,656,817千円、未払金が302,245千円、未払法人税等が152,843千円減少したためです。固定負債は4,124,004千円となり、前連結会計年度末に比べ1,215,367千円増加しました。これは主に長期借入金が1,176,181千円増加したためです。

この結果、負債合計は、9,250,205千円となり、前連結会計年度末に比べ846,239千円減少しました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は8,027,647千円となり、前連結会計年度末に比べ、3,774千円増加しました。これは主に、利益剰余金が633,910千円、自己株式が593,032千円、非支配株主持分が40,875千円増加した一方、その他有価証券評価差額金が6,577千円、新株予約権が71,400千円減少したためです。

この結果、自己資本比率は、43.3%(前連結会計年度末は41.1%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて1,928,744千円減少し、2,876,461千円でした。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動により使用した資金は、104,423千円(前中間連結会計期間に得られた資金は534,402千円)でした。主な増加要因は、税金等調整前中間純利益1,328,560千円、減価償却費275,898千円、のれん償却額82,717千円などです。主な減少要因は、棚卸資産の増加額1,046,085千円、未払金及び未払費用の減少額288,720千円、法人税等の支払額603,280千円などです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動により使用した資金は、625,906千円(前中間連結会計期間に使用した資金は2,102,338千円)でした。主な増加要因は、敷金及び保証金の回収による収入17,748千円です。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出122,211千円、無形固定資産の取得による支出177,182千円、投資有価証券の取得による支出248,219千円などです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動により使用した資金は、1,203,769千円(前中間連結会計期間に得られた資金は1,316,565千円)でした。主な増加要因は、短期借入れによる収入1,130,000千円、長期借入れによる収入1,460,000千円などです。主な減少要因は、短期借入金の返済による支出2,786,817千円、長期借入金の返済による支出177,071千円、配当金の支払額232,445千円、自己株式の取得による支出593,032千円などです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年2月9日の「2023年12月期決算短信」で公表しました2024年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,789,025	2,830,392
売掛金	1,627,407	1,580,135
営業投資有価証券	939,562	1,997,791
商品及び製品	10,610	12,153
原材料及び貯蔵品	3,105	3,235
前渡金	2,664	2,502
前払費用	354,718	364,293
1年内回収予定の長期貸付金	1,999	1,999
預け金	1,026,918	60,392
その他	349,043	202,211
貸倒引当金	△13,931	△19,849
流動資産合計	8,091,124	7,035,259
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,292,612	2,423,824
減価償却累計額	△931,064	△1,031,795
建物 (純額)	1,361,547	1,392,029
車両運搬具	10,880	24,612
減価償却累計額	△7,133	△5,060
車両運搬具 (純額)	3,746	19,551
工具、器具及び備品	592,398	605,527
減価償却累計額	△509,522	△535,542
工具、器具及び備品 (純額)	82,876	69,984
土地	1,538,479	1,538,479
リース資産	37,494	43,229
減価償却累計額	△23,718	△27,244
リース資産 (純額)	13,775	15,985
有形固定資産合計	3,000,425	3,036,030
無形固定資産		
のれん	1,527,097	1,444,379
ソフトウェア	1,070,148	1,067,880
ソフトウェア仮勘定	10,201	22,657
その他	—	23,417
無形固定資産合計	2,607,446	2,558,334
投資その他の資産		
投資有価証券	1,961,057	2,161,392
長期前払費用	220,459	184,309
長期貸付金	2,833	1,833
繰延税金資産	708,791	695,085
保険積立金	266,015	266,015
差入保証金	1,256,874	1,334,302
その他	5,290	5,290
投資その他の資産合計	4,421,320	4,648,228
固定資産合計	10,029,193	10,242,593
資産合計	18,120,318	17,277,853

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	487,216	303,555
短期借入金	3,216,817	1,560,000
1年内返済予定の長期借入金	280,684	387,432
未払金	859,885	557,639
未払費用	707,960	721,485
未払法人税等	594,328	441,484
未払消費税等	140,125	208,758
前受金	583,167	594,914
リース債務	6,675	6,821
その他	310,946	344,109
流動負債合計	7,187,807	5,126,200
固定負債		
長期借入金	2,220,592	3,396,773
リース債務	6,947	8,494
資産除去債務	671,070	709,788
その他	10,028	8,948
固定負債合計	2,908,637	4,124,004
負債合計	10,096,445	9,250,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	699,585	699,585
資本剰余金	929,640	929,640
利益剰余金	7,981,454	8,615,365
自己株式	△1,843,347	△2,436,380
株主資本合計	7,767,333	7,808,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△320,172	△326,749
その他の包括利益累計額合計	△320,172	△326,749
新株予約権	100,693	29,292
非支配株主持分	476,019	516,894
純資産合計	8,023,873	8,027,647
負債純資産合計	18,120,318	17,277,853

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	7,725,423	8,566,169
売上原価	315,426	591,767
売上総利益	7,409,997	7,974,401
販売費及び一般管理費	6,445,370	6,704,224
営業利益	964,626	1,270,177
営業外収益		
受取利息	89	69
受取配当金	12,692	-
為替差益	3,290	5,355
補助金収入	13,820	312
保険解約返戻金	16,000	-
その他	2,890	3,448
営業外収益合計	48,783	9,186
営業外費用		
支払利息	5,669	9,152
投資事業組合運用損	256	117
支払手数料	-	1,779
その他	3,008	7
営業外費用合計	8,935	11,056
経常利益	1,004,475	1,268,307
特別利益		
固定資産売却益	2,286	1,591
投資有価証券売却益	310,745	-
新株予約権戻入益	-	82,210
その他	4,454	-
特別利益合計	317,486	83,801
特別損失		
固定資産除却損	20,848	-
投資有価証券売却損	-	23,548
店舗閉鎖損失	918	-
その他	10,915	-
特別損失合計	32,682	23,548
税金等調整前中間純利益	1,289,279	1,328,560
法人税、住民税及び事業税	420,403	405,050
法人税等調整額	31,140	16,029
法人税等合計	451,544	421,080
中間純利益	837,734	907,480
非支配株主に帰属する中間純利益	31,898	40,875
親会社株主に帰属する中間純利益	805,835	866,605

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	837,734	907,480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△379,697	△6,577
その他の包括利益合計	△379,697	△6,577
中間包括利益	458,037	900,903
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	426,138	860,028
非支配株主に係る中間包括利益	31,898	40,875

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,289,279	1,328,560
減価償却費	181,812	275,898
のれん償却額	128,493	82,717
長期前払費用償却額	617	1,412
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9,169	5,918
賞与引当金の増減額 (△は減少)	40,692	15,705
受取利息及び受取配当金	△12,781	△69
支払利息	5,669	9,152
投資有価証券売却損益 (△は益)	△310,745	23,548
固定資産除却損	18,286	-
投資事業組合運用損益 (△は益)	256	117
新株予約権戻入益	-	△82,210
売上債権の増減額 (△は増加)	195,448	22,225
前渡金の増減額 (△は増加)	△12,055	162
預け金の増減額 (△は増加)	△12,385	△3,586
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△321,715	△1,046,085
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,671	△183,661
前受金の増減額 (△は減少)	△32,248	35,954
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△283,562	△288,720
その他	19,831	310,441
小計	906,735	507,483
利息及び配当金の受取額	12,781	69
利息の支払額	△5,940	△8,696
法人税等の支払額	△379,173	△603,280
営業活動によるキャッシュ・フロー	534,402	△104,423
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,452,192	△122,211
無形固定資産の取得による支出	△78,782	△177,182
投資有価証券の取得による支出	△767,921	△248,219
投資有価証券の売却による収入	338,852	-
貸付けによる支出	△4,856	-
貸付金の回収による収入	999	999
敷金及び保証金の差入による支出	△35,072	△97,085
敷金及び保証金の回収による収入	6,807	17,748
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△112,104	-
その他	1,931	42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,102,338	△625,906

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	600,000	1,130,000
短期借入金の返済による支出	-	△2,786,817
長期借入れによる収入	1,067,701	1,460,000
長期借入金の返済による支出	△183,497	△177,071
配当金の支払額	△241,394	△232,445
自己株式の取得による支出	-	△593,032
その他	73,756	△4,402
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,316,565	△1,203,769
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,230	5,355
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△248,139	△1,928,744
現金及び現金同等物の期首残高	3,840,365	4,805,205
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,592,226	2,876,461

(4) 中間期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年2月9日開催の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間において自己株式992,800株の取得を行いました。この結果、自己株式が593,032千円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が2,436,380千円となっております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	加盟店事業	直営店事業	マッチング 事業	ライフデザイン 事業	計		
売上高							
一時点で移転されるサービス	938,016	1,354,142	564,579	380,381	3,237,120	—	3,237,120
一定の期間にわたり移転されるサービス	553,472	2,803,584	352,408	690,442	4,399,907	—	4,399,907
顧客との契約から生じる取引	1,491,488	4,157,726	916,987	1,070,824	7,637,027	—	7,637,027
その他の収益	—	—	—	88,395	88,395	—	88,395
外部顧客への売上高	1,491,488	4,157,726	916,987	1,159,220	7,725,423	—	7,725,423
セグメント間の内部売上高又は振替高	59,483	17,832	19,200	—	96,515	△96,515	—
計	1,550,972	4,175,558	936,187	1,159,220	7,821,938	△96,515	7,725,423
セグメント利益	835,337	697,097	67,083	178,334	1,777,852	△813,226	964,626

(注) 1. セグメント利益の調整額△813,226千円には、セグメント間取引消去731千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△813,957千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他の収益」は、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)に基づく金融商品に係る取引及び「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	加盟店事業	直営店事業	マッチング 事業	ライフデザイン 事業	計		
売上高							
一時点で移転されるサービス	989,746	1,499,496	468,001	683,438	3,640,681	—	3,640,681
一定の期間にわたり移転されるサービス	628,869	2,889,458	346,324	970,250	4,834,903	—	4,834,903
顧客との契約から生じる取引	1,618,615	4,388,955	814,325	1,653,689	8,475,585	—	8,475,585
その他の収益	—	—	—	90,583	90,583	—	90,583
外部顧客への売上高	1,618,615	4,388,955	814,325	1,744,273	8,566,169	—	8,566,169
セグメント間の内部売上高又は振替高	71,452	25,143	37,581	338	134,515	△134,515	—
計	1,690,067	4,414,098	851,906	1,744,611	8,700,684	△134,515	8,566,169
セグメント利益	1,075,883	820,174	72,000	230,504	2,198,563	△928,386	1,270,177

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他の収益」は、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)に基づく金融商品に係る取引及び「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。